

# 令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立松江第五中学校

教科		総合的な学習の時間		学年		第1学年		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準					
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
・他者との共同作業を深めよう	10	・様々な学校行事やクラス活動を通じて、他者との協力関係を築き、目標達成を目指す。	・各種データを利用し、よりよい結果に結びつける努力を進める。	・様々な意見を集約し、集団として前向きな活動に続けることができる。	・他者の意見を尊重しつつ、自らの意見を発言することができる。			
・小京都の町(鎌倉)から歴史を感じよう	5	・班行動を含む体験学習を通して小京都の歴史に触れ、自分たちの国の歴史について学習を深める	・訪問する地域の寺社や歴史に関する情報を収集し、自分たちの地域との違いについて、気づくことができる。	・収集した情報を目的に合わせて分類したり、分かりやすく伝える工夫をすることができる。	・達成する目的に応じて自分自身の考えをまとめ相手にわかりやすく伝えようとしている。			
・働く人へのインタビュー	5	・実際に働いている人へのインタビューを通して働くことの実像について考える機会とする。	・身近なひとへのインタビューをして情報を集める。	・インタビューで得られた情報を整理して新聞を作成することができる。	・インタビューの計画を見通しをもって立てることができ、期日を守って提出することができる。			

# 令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立松江第五中学校

教科	総合的な学習の時間		学年	第2学年		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・共同作業を通して、他者との協力関係を築く。	10	・様々な学校行事やクラス活動を通じて、他者との協力関係を築き、目標達成を目指す。	・各種データや資料を活用して、目標の達成に結びつける。	・様々な意見を集約し、集団として前向きに活動を続けることができる。	・他者の意見を尊重しつつ、自らの意見を表現することができる。	
・自然を感じよう	10	・移動教室を含む体験学習を通して、自然環境に触れ、自分たちの暮らす地域について考え直す機会を作る。	・訪問する地域についての自然環境に関する情報を収集し、自分たちの地域との違いについて、気づくことができる。	・収集した情報を目的に合わせて分類したり、分かりやすく伝える工夫をすることができる。	・達成する目的に応じて自分自身の考えをまとめ相手にわかりやすく伝えようとしている。	
・働くことを考えよう	15	・実際に働く人と触れ合いながら自分で考えた働くことの意味との違いを探究することができる。	・将来の職業をイメージし、職場を選択し、職場体験を通して記録したことを整理し、まとめることができる。	・実際に職場体験を行い、体験から得た情報や感想をレポートにまとめることができる。	・再び将来の職業についてイメージし、今後どのような社会人になりたいか、どのように生きていきたいかという自分の考えを発表することができる。	

教科		総合的な学習の時間		学年		第3学年		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準					
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
・自分を知ろう	10	・自分に対するイメージを漠然としたものから、自己や他者の目を通して具体的なものに変えていくことができる。	・ワークシートやエクササイズなどを通して、自分の知っている自分と他者からみられている自分について、改めて認識することができる。	・課題を解決するために必要な情報を収集し、整理をしてレポートにまとめ自己の成長や学習に生かすことができる。	・自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする。			
・実際に歴史と文化に触れよう	15	・奈良・京都のさまざまな文化から課題を設定し、事前学習を通じたあとに実際の自然・歴史・文化にふれることができる。	・調査活動によって得た情報を集めることができる。	・自ら集めた情報を整理して他者に自分の考えが伝わるように情報を分類したり表現方法を工夫することができる。	・班員と自分の関わりに関心を持ち、修学旅行に向けて積極的に考えようとしている。			
・未来に橋を架けよう	10	・進路意識を高めるとともに、現在の生活が自分の将来に結びつくことを知り、希望の実現に向けて意欲をもって将来設計に臨むことができる。	・自分の進路を実現するためにはそこに存在する様々な問題の解決に向けて他者と目的を共有して取り組むことが必要であることを理解している。	・収集した情報を比較・分類することで自己の目標を実現するために見通しをもって考えることができる。	・自己実現に向け持続的に自分の生活、学習方法、将来に対する考え方を見直し相談しながら取り組もうとしている。			